

愛媛県新居浜市新居浜校区
地区防災計画



まちを知ろう 人を知ろう そしてみんなで備えよう
ずっと住みたい新居浜校区

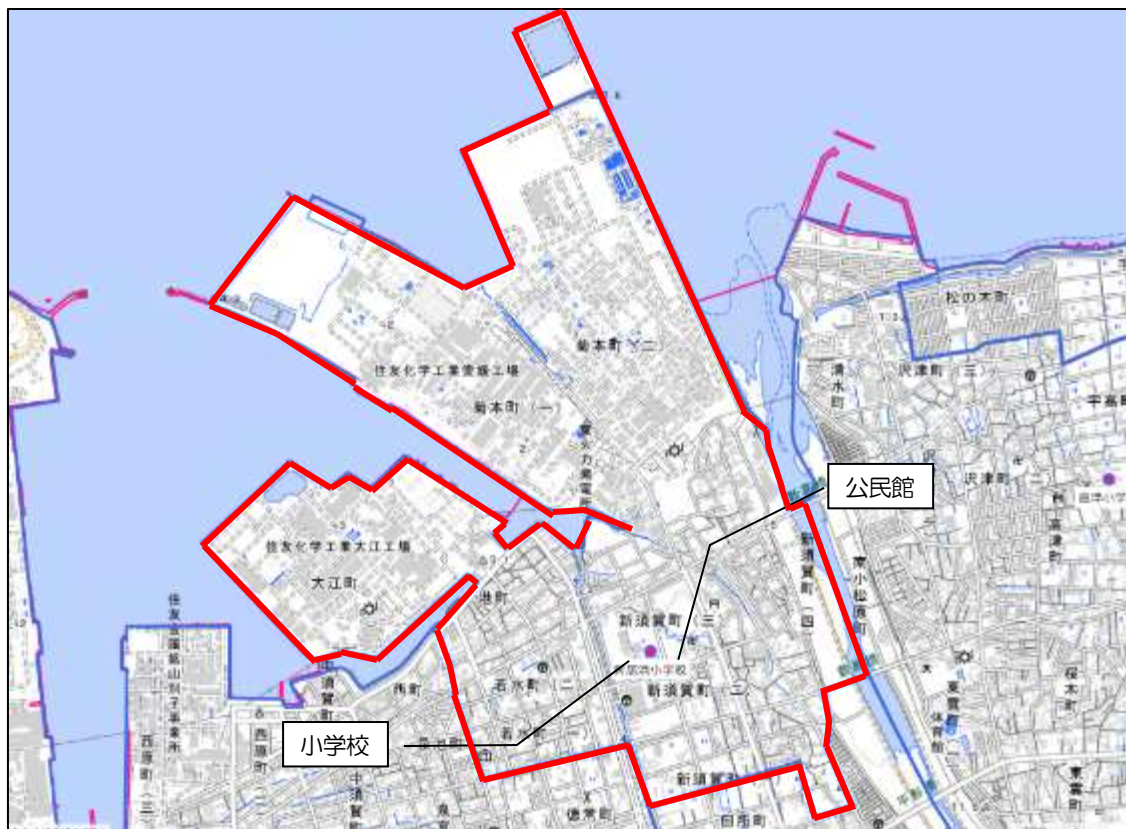
令和4年3月

1 新居浜校区の概要

(1) 新居浜市位置図



(2) 新居浜校区位置図



(3) 新居浜校区の特性

新居浜校区は、新居浜市の中心部から北側に位置し、校区の中央には住宅地が存在し、北部には住友化学が立地し、西側には、二級河川の国領川、中央部には尻無川が存在しています。

校区には新居浜小学校、新居浜公民館が立地されており、災害時には避難所として活用されることとなります。また、新居浜市と住友科学株式会社愛媛工場と災害時「緊急避難者」の受入れに関する災害協定を締結しており、地震等による大規模災害発生時などにおいて、住友科学愛媛工場惣開会議室及び住友化学菊本グラウンドを被災者の応急救援活動施設として使用要請を行うことが可能となっています。

2 社会特性

(1) 世帯・人口構成及び比率

(令和3年12月現在)

世帯	比率	人口	比率	男性	比率	女性	比率
2,254	3.9	4,201	3.6	1,997	3.6	2,204	3.6

(2) 避難行動要支援者数

(令和4年3月現在)

対象者数	同意	不同意	その他
155	102	12	41

3 自然特性・災害特性（地域で起こりうる災害）

(1) 被害想定

想定震度	津波浸水深 浸水開始時間	液状化危険度	土砂災害 警戒区域	国領川 洪水浸水	ため池浸水
7	0.5～3m 1時間後	極めて高い (30<PL)	R：なし Y：なし	0.5～3m 家屋倒壊なし	なし

(2) 地理的特性

流域河川（2級河川・普通河川）	国領川、尻無川
国領川洪水浸水想定区域	菊本町、新須賀町、港町、若水町
土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域	なし
南海トラフ巨大地震による津波浸水想定区域	菊本町、新須賀町、港町、若水町

(3) 想定される災害

災害種別	被災内容	備考
地震	想定震度7（倒壊被害・護岸決壊・液状化）	
津波	最大想定浸水深0.5m～3m（地震発生から1時間後）	20cmに達する時間
洪水	最大想定浸水深0.5m～3m（想定最大規模）	

4 防災の取組状況（予定）

取組時期	取組内容	対象
毎年9月下旬	新居浜校区防災訓練 （初期消火・応急手当・AED・煙体験・炊出訓練）	地域住民
毎年8月下旬	校区防災事業（体験・学習・調理）	小中高・公民館連携

5 災害時の課題

区分	課題
地震	建物崩壊 火災発生 堀江神社・円福寺などで倒木
水害・土砂	河川氾濫（国領川・尻無川） 浸水被害

6 災害時の現状

区分	現状
地震	避難所が少ない。 大規模な化学工場が隣接している。
水害・土砂	雨水等の排水設備が整っていない。
避難所開設運営	高齢者及び災害弱者の避難体制が構築できていない。 土地が低く浸水する可能性がある。
自助共助の向上	避難時のタイミング・ルートとの連絡、避難誘導の組織（誰が誰を誘導するか） 避難途中に川があり、避難場所へ行けないので自治会館を利用する。
要支援者の支援	要支援者に対する対応策を考える必要がある。
その他	各家庭で非常持出品の準備ができていない。

7 災害時の対策

区分	対策
地震	各家庭で家具転倒防止対策を実施する。
水害・土砂	各自治会で協議し備蓄品を購入する。 備蓄食糧品の共同購入をする。
避難所開設運営	早めの避難を呼びかける。
自助共助の向上	各自治会においての役割分担を明確にしておく（組織化する）。
要支援者の支援	要支援者リストを作成する。
その他	非常持出品の事前チェック 家族の連絡方法の確認

8 緊急避難場所及び避難所

施設名		収容人数		使用制限
		緊急避難場所として	避難所として	
新居浜公民館		536	134	地震×・風水害2階以上
新居浜小学校	校舎	3,694	924	地震・風水害2階以上
	体育館	807	202	津波・高潮×
	グラウンド	10,990		津波×
新須賀公園		1,800		
新居浜公園		27,000		津波×

9 自主的な緊急避難場所

施設名	受け入れ自治会	使用制限	備考
新須賀自治会館	新須賀自治会		
旭集会所	旭自治会	風水害2階以上	
東町自治会館	東町自治会	津波×・風水害2階以上	
若水自治会館	若水自治会	津波×・風水害2階以上	
大江自治会館	大江自治会	津波×・風水害2階以上	
東須賀大江自治会館	東須賀自治会	津波×・風水害2階以上	
昭七自治会館	昭七自治会	津波×・風水害2階以上	
西新須賀自治会館	西新須賀自治会	津波×・風水害2階以上	
みなと保育園	大江、東須賀、東町自治会	津波×・風水害2階以上	

10 防災活動計画（5ヶ年計画）

実施内容	年度計画					目標
	R4	R5	R6	R7	R8	
緊急避難場所の確保 (校区)	実施	⇒	⇒	⇒	見直	ビル所有者などへ依頼し、緊急避難場所を確保する。
防災組織の結成 (校区)	実施	⇒	⇒	⇒	見直	校区防災組織を結成し、任務分担などを明確にしておき、災害に備える。必要に応じ、毎年見直しを図る。
防災組織の活性化 (自治会)	実施	⇒	⇒	⇒	見直	防災組織における、任務分担等の見直しを行い、活性化を図る。

※ 上段：実施内容
下段：実施対象